

令和3年度 予算施策評価表

様式1

施策名	難治性疾患対策の推進				予算施策コード	hf04	
担当部局名	保健福祉部	健康衛生局	健康増進課	評価責任者	課長 菅 隆章	連絡先	2400

1 施策の内容

施策の目標	難治性疾患患者が身近な地域で適切な医療や相談が受けられ、安心した療養生活を維持できるとともに、生活の質の向上を図ることができる。
これまでの取組み	原因不明でかつ治療法の確立もなく、長期の療養を必要とする難治性疾患は、患者や家族の身体的、精神的、経済的負担等抱えている問題が多岐にわたるため、その負担の軽減と安定した療養生活が求められている。そこで、弱者等の保護・支援としての難病施策として、難病対策費など医療の助成を行うとともに、難病医療ネットワークによる重症難病患者の入院確保や保健所での難病患者地域ケアなど保健、医療、福祉とのケアシステムの整備を行っている。また、17年度から、難病患者とその家族の生活支援等を行う総合相談窓口として難病相談支援センター(県直営)を開設し、電話・面接相談、患者交流会等を実施し、患者等の自立への支援に取り組んできた。、H30年4月からは、難病相談支援センターを愛媛大学医学部附属病院に委託し、専門相談機能の強化を図っている。

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	保健所相談件数				B	医療費助成対象患者数					
選択理由	難病患者が安心して生活できるための指標として、問題解決に必要な相談支援を実施している状況を把握できる。				選択理由	難病患者に対する医療費助成の状況を把握するため					
算定方法	保健所の相談数(電話・面接・訪問・交流会相談件数)				算定方法	医療費助成対象患者数					
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	+	成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	0

指標・事業費・人件費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	人			人			千円					
元年度	9,000	12,854	142.8%	13,485	10,987	-	2,522,097	1,228,558	5,179	1,288,360		111,622
2年度	10,000	6,059	60.6%	14,072	11,733	-	2,532,148	1,233,435	5,492	1,293,221	2,067,392	112,320
3年度	10,000	12,577	125.8%	14,577	11,534	-	2,678,007	1,304,879	5,203	1,367,925	2,153,939	100,430
4年度 目標値	10000			14,376			4年度当初予算	2,734,213	1,328,270	5,724	1,400,219	
最終目標	10000			-								

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	難治性疾患対策については、法律や事業要綱等に基づくもので、国の施策として全国で取り組んでいる。県内には10,000人以上の認定患者がおられ、県の役割としても、原因不明で治療法が未確立であり、長期療養を要する難病の特殊性、専門性、希少性から県の関与の必要性は非常に高い。また、在宅の医療依存度の高い、人工呼吸器装着患者等が安心して地域で生活できるよう、在宅支援においても、県の保健師の役割は重要である。				
高い							
成果指標A		説明	難病患者が安心して療養生活を送るために、医療費助成により経済的負担の軽減を図り、保健所を中心として患者、家族の相談に応じ、不安の軽減、情報の提供、適宜福祉サービスに繋ぐなど生活の質の向上を図る支援をしている。				
成果動向	横這い		平成30年度、地域の実情に応じた医療支援体制を見直し、新たに神経分野拠点病院、二次医療圏域ごとの地域拠点病院を指定したところで、今後は、拠点病院を中心として、確定診断後は身近な地域で適正医療が継続して受けられるようネットワークを強化することで、レスパイト入院の受け入れ等にも成果が期待できる。令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の関係で、交流会の中止、来所者の減少、面談数の減少が見られるが、訪問数は横ばいであり、必要な対象者への支援は継続して行っている。				
成果向上余地	成果向上が可能						
成果指標B		説明	国の難病対策の一環として実施しており、コストの大部分が医療費であることから、県独自での見直しはない。また、国の制度改正があっても、難病は希少疾病で患者数も少ないことから成果向上の余地はほとんどない。				
成果動向	横這い						
成果向上余地	成果向上は余り望めない						
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	1.95	横這い	成果向上余地	1.50	成果向上が可能	

今後予測される環境変化	難治性疾患は、原因不明で治療法が未確立であり、在宅療養に係る問題も多岐にわたっており、患者負担の軽減が強く求められる。 平成30年度には神経分野拠点病院及びに二次医療圏域ごとの難病診療連携地域拠点病院を指定し、今後は身近な地域で適切な医療が継続して受けられるように二次医療圏域でのネットワークの強化を図る。
-------------	--

3 施策の今後の方向性

<p>難治性疾患に対する治療研究事業の推進は、患者の診断や治療法の確立・実用化のための研究につながると同時に難病患者や家族の医療費負担軽減の一助となっている。あわせて難病患者が安心して療養するための地域ケアシステムの整備は患者の生活の質の向上を図ることとなり、今後も成果をあげるため、施策の継続は必要である。事業費については、対象疾病が拡大し、患者数や相談件数の増加に伴い相談支援体制の強化のため、地域ケア推進事業や難病医療ネットワーク事業、難病患者相談支援事業を推進していく必要がある。</p> <p>平成30.4からは難病相談支援センターを愛媛大学医学部附属病院に委託し、専門相談機能の強化を図り、同年6月には医療体制を見直し、神経分野拠点病院、二次医療圏域ごとの地域拠点病院を指定し、地域の実情に応じた支援体制がスタートし、今後は更なるネットワークの強化を図る。</p>
--

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

										予算施策名				h f 04 難治性疾患対策の推進				
1 特定疾患対策費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい
指標種類1	指標名称1			単位	計画	14	9	10	10	事業費計	3,476	3,785	3,775	4,843	評価			
成果	0	70-	医療費負担患者数	人	実績	9	9	10	国費		3,440	3,761	3,752	4,823				
					達成率	-	-	-	その他									
指標種類2	指標名称2			単位	計画	14	9	10		決算	36	24	23	20	見直し方向性	方向1 統合	方向2	方向3
活動	0	70-	医療費助成対象患者数	人	実績	9	10	10	事業費計		2,579	2,707	3,553					
					達成率	-	-	-	国費		2,531	2,707	3,553					
指標種類3	指標名称3			単位	計画					決算	48				見直し方向性	方向1 統合	方向2	方向3
					実績				その他									
					達成率	-	-	-	県費									
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	0.8	0.8	0.8	見直し方向性	特定疾患患者への事業を包括的に把握するため、スモン患者はり、きゆう、マッサージ治療研究事業費を統合			
	S48	予定・見込があれば記入	原因が不明であり治療方法の確立されていない難病のうち、国が指定した特定疾患について、その実態を調査し、原因の究明や治療研究の推進を図るとともに、その治療費を助成し、患者及び家族の精神的、経済的負担の軽減を図る。							人件費	5,445	5,413	4,840					
2 難病対策費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい
指標種類1	指標名称1			単位	計画	13,485	14,072	14,577	14,376	事業費計	2,076,018	2,470,998	2,617,272	2,664,434	評価			
成果	0	70-	医療費負担患者数	人	実績	10,987	11,733	11,534	国費		977,159	1,221,560	1,293,477	1,315,333				
					達成率	-	-	-	その他									
指標種類2	指標名称2			単位	計画	13,485	14,072	14,577		決算	1,098,859	1,249,438	1,323,795	1,349,101	見直し方向性	方向1 このまま継続	方向2	方向3
活動	0	70-	医療費助成対象患者数	人	実績	10,987	11,733	11,534	事業費計		2,044,445	2,020,262	2,098,574					
					達成率	-	-	-	国費		1,015,757	1,007,259	1,043,546					
指標種類3	指標名称3			単位	計画					決算	446	54	7		見直し方向性	方向1 このまま継続	方向2	方向3
					実績				その他									
					達成率	-	-	-	県費		1,028,242	1,012,949	1,055,021					
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	6.6	6.6	6.6	見直し方向性	特定疾患患者への事業を包括的に把握するため、スモン患者はり、きゆう、マッサージ治療研究事業費を統合			
	H26	予定・見込があれば記入	国の指定した難病について、実態の調査や治療研究の推進を図るとともに、患者に対する良質かつ適切な医療の確保のため、県内に住所を有する患者を対象に医療費の補助を行うもの							人件費	44,920	44,656	39,930					
3 難病団体育成費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい
指標種類1	指標名称1			単位	計画	11	11	12	12	事業費計	90	90	90	90	評価			
成果	0	スタッフ	助成団体数	団体	実績	11	11	12	国費									
					達成率	-	-	-	その他									
指標種類2	指標名称2			単位	計画	1,800	1,600	1,600		決算	90	90	90	90	見直し方向性	方向1 このまま継続	方向2	方向3
成果	0	スタッフ	会員数	団体	実績	1,601	1,399	1,399	事業費計		90	90	90					
					達成率	-	-	-	国費									
指標種類3	指標名称3			単位	計画					決算	90	90	90		見直し方向性	方向1 このまま継続	方向2	方向3
					実績				その他									
	0	スタッフ		人	達成率	-	-	-	県費									
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	0.2	0.2	0.2	見直し方向性	特定疾患患者への事業を包括的に把握するため、スモン患者はり、きゆう、マッサージ治療研究事業費を統合			
	S49	予定・見込があれば記入	社会的にも医療福祉面からも強く救済支援措置が望まれる難病等の患者及び家族が、相互の情報交換、親睦、社会的自立への相互援助を図るために結成した連絡協議会の運営費の一部を助成する経費。							人件費	1,362	1,354	1,210					

4 難病患者支援事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり														
指標種類1	指標名称1			単位	計画	9,000	10,000	10000	10000	10000	事業費計	9,212	9,208	9,595	9,751	評価	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり													
成果	+	70-	保健所相談件数	件	実績	12,854	6059	12,557			国費	4,606	4,604	4,797	4,875					新型コロナウイルス感染症の影響で保健所における相談件数は減少しており、しばらく続く予測される。												
					達成率	142.82%	60.59%	125.57%			その他																					
					指標種類2	指標名称2			単位	計画	200	200	200	250	事業費計									7,882	7,650	8,389						
活動	+	70-	相談支援センター相談件数	件	実績	137	160	231			国費	3,824	4,603	4,795										見直し方向性	方向1	このまま継続	方向2	方向3				
					達成率	68.50%	80.00%	115.50%			その他																					
					指標種類3	指標名称3			単位	計画	150	150	150		事業費計														4,058	3,047	3,594	
活動	+	70-	難病専門研修会への参加者数	件	実績	0	83	36			国費																					
					達成率	0.00%	55.33%	24.00%			その他																					
					実施期間	初期	終期	事業の概要						人役	4.4														4.4	4.4		
H17	予定・見込があれば記入	難病患者等に対し、総合的な相談・支援や地域における受入病院の確保を図るとともに、在宅療養上の適切な支援を行うことにより、難病患者やその家族等の安定した療養生活の確保を目的とする。						人件費	29,947	29,771	26,620																					

5 難病医療事務センター運営費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり													
指標種類1	指標名称1			単位	計画	10,500	11,000	13,000	13,000		事業費計	31,199	31,658	31,070	32,410	評価	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり												
成果	0	70-	特定医療費(指定難病)更新申請処理件数		実績	10,487	更新無し	11,002			国費				新規・更新とも事務の集約化、業務の効率化をすすめることができた。																
					達成率	-	-	-			その他																				
					指標種類2	指標名称2			単位	計画	3,000	2,600	100	100									事業費計	31,199	31,658	31,070	32,410				
活動	0	70-	指定医・指定医療機関更新等処理件数		実績	1,838	2,062	452			国費	29,021	24,646	30,725										見直し方向性	方向1	このまま継続	方向2	方向3			
					達成率	-	-	-			その他																				
					指標種類3	指標名称3			単位	計画		5,200	5,500										事業費計						29,021	24,646	30,725
活動			特定医療費(指定難病)処理件数(更新以外)		実績			5,475			国費																				
					達成率	-	-	-			その他																				
					実施期間	初期	終期	事業の概要						人役									2.1						2.1	2.1	
R1	予定・見込があれば記入	難病医療事務センターを設置し、難病医療費助成関係事務全般について外部委託するもの。						人件費	14,293	14,209	12,705																				

6 スモン患者はり、きゅう、マッサージ治療研究事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい												
指標種類1	指標名称1			単位	計画	3	3	2	1		事業費計	759	759	550	0	評価	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい											
成果	0	70-	施術費負担患者数	人	実績	3	1	1			国費	759	759	550						特定疾患患者への事業を包括的に把握するため、特定疾患対策事業と統合										
					達成率	-	-	-			その他																			
					指標種類2	指標名称2			単位	計画	3	3	2		事業費計									192	135	727				
活動	0	70-	スモン施術受給者数	人	実績	3	1	1			国費	192	135	550										見直し方向性	方向1	統合	方向2	方向3		
					達成率	-	-	-			その他																			
					指標種類3	指標名称3			単位	計画					事業費計															
活動					実績						国費																			
					達成率	-	-	-			その他																			
					実施期間	初期	終期	事業の概要						人役	0.1														0.1	0.1
S53	予定・見込があれば記入	スモン患者救済のため、はり、きゅう、マッサージ等を希望する者に対し、治療研究を実施し、スモン患者に関する医療の確立及び普及を図る。						人件費	681	677	605																			

7 先天性血液凝固因子障害等治療研究費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい												
指標種類1	指標名称1			単位	計画	38	40	42	43		事業費計	4,799	5,029	5,273	5,579	評価	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい											
成果	0	70-	医療費負担患者数	人	実績	40	39				国費	2,377	2,493	2,045	2,769					引き続き適正な認定審査及び医療費の請求内容審査が必要。全国的な難病対策の一環であり、県独自の見直しの余地は無い										
					達成率	-	-	-			その他																			
					指標種類2	指標名称2			単位	計画	38	40	42		事業費計									2,422	2,536	3,228	2,810			
活動	0	70-	20歳以上の先天性血液凝固因子障害等患者数	人	実績	40	39				国費	4,080	4,025	4,025										見直し方向性	方向1	このまま継続	方向2	方向3		
					達成率	-	-	-			その他		103																	
					指標種類3	指標名称3			単位	計画					事業費計														2,057	1,831
活動					実績						国費																			
					達成率	-	-	-			その他																			
					実施期間	初期	終期	事業の概要						人役	0.1														0.1	0.1
H1	予定・見込があれば記入	20以上の先天性血液凝固因子障害等患者の治療研究を一層推進するとともに、長期かつ高額な医療を受けなければならない患者の経済的救済を図るため、医療費の自己負担分を全額公費負担する。						人件費	681	677	605																			

8 在宅人工呼吸器使用患者支援事業費							指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	2成果低迷している	向上余地	2一定の成果向上余地あり	
指標種類1	指標名称1		単位	計画	3	3	3	3	3	3	3	3	事業費計	513	516	516	940	評価	国の補助制度の枠組みで実施。			
成果	0	70-	費用交付患者数	人	実績	1	1	1				国費	256	258	258	470						
					達成率	-	-	-				その他										
指標種類2	指標名称2		単位	計画	3	3	3	3	3	3	3	3	事業費計	138	155	410	見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3	災害による電源喪失に伴う人工呼吸器等医療機器の停止を防ぐため、非常用電源装置の整備を図り、在宅療養体制の整備を進める			
活動	0	70-	認定患者数	人	実績	1	1	1				国費	69	77	258							
					達成率	-	-	-				その他										
指標種類3	指標名称3		単位	計画									事業費計	257	258	258	470					
実施期間	初期	終期	事業の概要										人役	0.1	0.2	0.2						
	H13	予定・見込があれば記入	在宅人工呼吸器使用難病患者に対して、診療報酬で定められた回数を超える訪問看護を実施する場合の必要な費用を交付する。										人件費	681	1,354	1,210						

9 難病等公費医療事務処理システム運営費							指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	3大きく成果向上する	
指標種類1	指標名称1		単位	計画	13,485	14,072	14,577	14,376	14,376	14,376	14,376	14,376	事業費計	2,954	2,508	2,558	2,591	評価	難病等関連業務の効率的な執行のために不可欠であり、マイナンバーを利用した情報連携、医師の診断書のオンライン登録など、公平で正確な助成を実施するために制度に対応したシステム改修を行う	方向1 このまま継続 方向2 方向3	国の制度改正に応じた改修を随時行う	
成果	0	70-	難病医療費助成認定患者数	人	実績	10,987	11,739	11,534				国費										
					達成率	-	-	-				その他										
指標種類2	指標名称2		単位	計画	13485	14072	14,577						事業費計	3,211	2,866	3,307	見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3				
活動	0	70-	難病医療費助成認定患者数	人	実績	10,987	11,739	11,534				国費										
					達成率	-	-	-				その他										
指標種類3	指標名称3		単位	計画									事業費計	2,954	2,508	2,558	2,591					
実施期間	初期	終期	事業の概要										人役	0.3	0.3	0.3						
	H11	予定・見込があれば記入	難病医療等の医療費公費負担事務について、一連の公費医療事務にパソコン専用システムを導入することにより、事務処理の迅速化、保健所におけるサービスの向上、医療費の過誤チェックによる経費削減、関連事業へのデータ利用を図る。										人件費	2,042	2,030	1,815						

10 愛媛県臓器移植支援センター運営費							指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい	
指標種類1	指標名称1		単位	計画	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	事業費計	6,993	7,597	7,308	13,575	評価	臓器移植の普及啓発活動や移植コーディネーター活動は、その業務の性格上、活動が成果に直結するものではなく、移植医療推進のためには、病院巡回等の継続した取組が必要である。	方向1 このまま継続 方向2 方向3		
活動	+	70-	年間意思表示カードの配布枚数	枚	実績	18,755	12,622	15,650				国費										
					達成率	46.89%	31.56%	39.13%				その他	5,179	5,492	5,203	5,724						
指標種類2	指標名称2		単位	計画	150	150	150	150	150	150	150	150	事業費計	1,814	2,105	2,105	7,851	見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3			
活動	+	70-	病院巡回回数	回	実績	119	92	99				国費										
					達成率	79.33%	61.33%	66.00%				その他	4,171	2,562	1,297	2,842						
指標種類3	指標名称3		単位	計画	10	10	10	10	10	10	10	10	事業費計	6,257	4,856	4,139						
成果	+	70-	コーディネーター件数	件	実績	7	3	4				国費										
					達成率	70.00%	30.00%	40.00%				その他	2,086	2,294	2,842							
実施期間	初期	終期	事業の概要										人役	1.8	1.8	1.8						
	S62		慢性腎不全患者のための死体腎移植をはじめ、心臓移植、肝臓移植などの臓器移植を円滑に推進するため、臓器移植支援センター(衛生環境研究所内)を設置し、移植コーディネーター業務と特定移植検査センターに係る業務等を行うために要する経費である。										人件費	12,251	12,179	10,890						